

# 山響 さくらんぼ 東京公演

## コンサート 2019

山形交響楽団特別演奏会 Yamagata Symphony Orchestra Special Concert



# OPERA GALA

2019.6/28(金) 19:00開演  
(18:15開場)

18:45より、指揮者によるプレ・コンサート・トークを予定しております

東京オペラシティ コンサートホール Tokyo Opera City Concert Hall  
京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ) 初台駅東口下車徒歩5分以内

指揮/阪 哲朗 バリトン/大西 宇宙  
ソプラノ/森 麻季 管弦楽/山形交響楽団

Conductor: Tetsuro Ban  
Soprano: Maki Mori  
Baritone: Takaoki Onishi  
Orchestra: Yamagata Symphony Orchestra

モーツァルト/セレナーデ 第6番 二長調「セレナータ・ノットゥルナ」K.239  
モーツァルト/歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527 より

ドン・ジョヴァンニのaria "酷いですって! いいえ...そんなことはおっしゃらないで下さい、愛しい人よ"  
ドン・ジョヴァンニのcantata "窓辺においてよ、ドン・ジョヴァンニとツェルリーナの二重唱 "お手をどうぞ"

モーツァルト/歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」K.588 より

フィオルディリージの rond "恋人よ、どうか許してください"  
グリエルモの aria "彼に目を向けて下さい"

モーツァルト/交響曲 第36番 ハ長調「リンツ」K.425

ヴェルディ/歌劇「リゴレット」より

序曲、リゴレットとジルダの二重唱 "娘よ! お父様!", ジルダの aria "慕わしい人の名は" ほか

Mozart: Serenade No.6 in D Major, K.239, "Serenata Notturna"  
Mozart: Don Giovanni, K.527: Act II-Crudel! Ah no, mio bene - Non mi dir Act II-Deh, vieni alla finestra Act I-La ci darem la mano  
Mozart: Così fan tutte, K.588: Act I-Per pietà, ben mio, perdona Rivolgete a lui lo sguardo  
Mozart: Symphony No.36 in C Major, K.425, "Linz"  
Verdi: Rigoletto: Overture Act I-Figliat! Mio padre! Act I:Gualtier Malde - Caro nome! etc.

※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

入場料 全席指定(税込) S席 ¥5,700 A席 ¥4,700 B席 ¥2,600

《チケット一般発売: 2019.1/26(土)》

※小学生以上の方がご入場いただけます。  
※車椅子でのご来場をご希望のお客様は、ジャパン・アーツびあまでお電話にてお問い合わせください。  
※学生券(各ラングの半額、社会人学生を除く25歳までの学生が対象)を4/1月 10:00より、残席がある場合に限りジャパン・アーツびあでの電話、及びWEBジャパン・アーツびあで受付をします。当日は学生証を提示の上、ご入場ください。

- ジャパン・アーツびあ <http://www.japanarts.co.jp>  
TEL.03-5774-3040(4/1以降は番号が変わります TEL.0570-00-1212)
- チケットびあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) TEL.0570-02-9999(Pコード:134-268)
- 東京オペラシティチケットセンター TEL.03-5353-9999
- e+(イープラス) [eplus.jp](http://eplus.jp)
- ローソンチケット TEL.0570-000-407(Lコード: 33685)
- 山響チケットサービス TEL.023-625-2204(土・日・祝日を除く10:00~17:00)

ジャパン・アーツびあ TEL.03-5774-3040(4/1以降は番号が変わります TEL.0570-00-1212)  
山響チケットサービス TEL.023-625-2204(土・日・祝日を除く10:00~17:00)

食と温泉の国のオーケストラ 山形交響楽団ホームページ <http://www.yamakyo.or.jp>  
山形交響楽団 Facebook [yamagatasymphony](https://www.facebook.com/yamagatasymphony) Twitter [@y\\_symphony](https://twitter.com/y_symphony)

【主催】公益社団法人 山形交響楽協会 【協賛】おいしい山形推進機構  
【後援】山形県・山形県人東京連合会・山形新聞・山形放送・山形テレビ 【公演運営】ジャパン・アーツ



世界を魅了する  
名歌手森麻季 &  
新鋭大西宇宙 夢の饗宴

山響新時代：阪哲朗 常任指揮者就任記念！

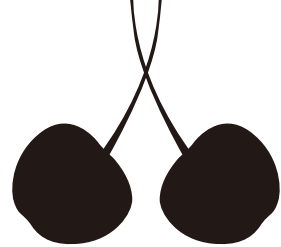
本場「山形県産さくらんぼ」を抽選でプレゼント！恒例の山形物産展も開催～"YAMAGATA"の魅力をお届けします！



# 山響 さくらんぼコンサート 2019

山形交響楽団特別演奏会  
Yamagata Symphony Orchestra Special Concert

東京公演



指揮  
阪 哲朗

Conductor :  
Tetsuro Ban

©Takashi Imai



ソプラノ  
森 麻季

Soprano :  
Maki Mori

©Yuji Hori



バリトン  
大西 宇宙

Baritone :  
Takaoki Onishi

阪 哲朗は欧米での客演も数多く、おもにドイツ、オーストリア、スイス、フランス、イタリアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている。日本においては、主要オーケストラ、新国立劇場、二期会などのオペラ団体を指揮している。

これまでに、ビール市立歌劇場(スイス・ベルン州)専属指揮者(1992~97年)、ブランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者(1997~98年)、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者(1998~02年)、アイゼナハ歌劇場(ドイツ・テューリンゲン州)音楽総監督(2005~09年)、山形交響楽団首席客演指揮者(2007~09年)、レーゲンスブルク歌劇場(ドイツ・バイエルン州)音楽総監督(2009~17年)を歴任。2019年4月より、山形交響楽団の常任指揮者に就任が決定している。ベルリン・コーミッシェ・オーパーでは、H.クプファー新演出による「天国と地獄」、A.ホモキ演出による「ファルスタッフ」、M.シューラー新演出による「リゴレット」などを手がけ、約20演目170回余を指揮し好評を得た。また、2008/09年の年末年始に、ウィーン・フォルクスオーパーで、同劇場の年間のハイライトとも言うべき公演である「こうもり」を指揮したことは、大きな話題となった。地元ウェブ・サイト「オペラ・ウィーン」では「成功した大晦日」と題して、「阪哲朗によるオーケストラは、躍動感あふれる熱のこもった演奏をした。弦楽器には官能的に悦びにふける何かがあった」と絶賛された。ほかに、シュトゥットガルト歌劇場、スイス・バーゼル歌劇場、新国立劇場などで、「ファルスタッフ」、「カルメン」、「ペレアスとメリザンド」、「ホフマン物語」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」、「道化師」、「天国と地獄」など多くの作品を指揮。ドイツ国内はもとよりヨーロッパ各地の歌劇場における過去25年間に指揮した舞台作品数は約70演目、通算公演回数は1000回以上にのぼる。

京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平氏らに師事。卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてK.エステルライヒャー、L.ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。1995年「第44回ブザンソン国際指揮者コンクール」優勝。1996年京都府文化奨励賞、1997年度ABC国際音楽賞、2000年京都市芸術新人賞、2000年第2回ホテルオーケラ音楽賞、2004年度第12回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年度第26回藤堂顕一郎音楽賞受賞。

東京藝術大学、同大学院独唱専攻、文化庁オペラ研修所修了。ミラノとミュンヘンに留学し、プラシド・ドミンゴ世界オペラコンクール「オペラリア」等多数の国内外のコンクールに上位入賞を果たす。ワシントン・ナショナル・オペラ「後宮からの逃走」でアメリカ・デビュー以来、ワシントン・ナショナル・オペラとロサンゼルス・オペラにおいて、「リゴレット」、「パルシファル」、「ホフマン物語」[こうもり]、「ヴェルテル」でドミンゴ、フォン・シュターデ、アラニーヤ、ケント・ナガノ、ジュン・アンダーソン、ブレンデル、オブラストヴォフ等と共演。ルイージ指揮ドレズデン国立歌劇場「ばらの騎士」、エディンバラ音楽祭「リナルド」、ノセダ指揮トリノ王立歌劇場「ラ・ボエーム」で、フリットリヤアルヴァレスと共演し、国際的な評価を得る。2015年、兵庫県立芸術文化センター開館10周年記念オペラ「椿姫」のヴィオレッタは、連日スタンディング・オベーションの絶賛を博した。2017年11月モンテヴェルディ生誕450年を記念した歌劇「ポッペアの戴冠」のタイトルロールで好評を博す。コンサートではアシュケナージ、テミルカーノフ、インバル、小澤征爾、チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィ、ハーディング等の著名指揮者やNHK交響楽団、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルのメンバー、フランクフルト放響、サンクトペテルブルグ・フィル等の内外の主要オーケストラ、ドレズデン聖十字架教会合唱団などと共演し成功を収める。古典から現代まで幅広いレパートリーを誇り、コロラトゥーラの類稀なる技術、透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマやNHK東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を歌い、文部科学省主催「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」公式プログラム「The Land of the Rising Sun」(宮本亜門演出)に出演するなど、日本を代表するオペラ歌手として常に注目を集めている。デビュー20周年記念アルバム「至福の時~歌の翼に」をリリース(エイベックス・クラシックス)。

公式ツイッター：@makimori\_sop

武蔵野音楽大学及び大学院卒業。全日本学生音楽コンクール第一位およびイタリア声楽コンクール金賞・バリトン特賞を受賞後、IFACジュリアード音楽院声楽オーディションにて最優秀賞を受賞し、日本人としては数少ない声楽専攻生としてジュリアード音楽院に入学。卒業時には在学中の活躍を讃えられ、特別賞と奨学金を付与された。この他、イタリアやドイツ、スイスのアカデミーなどでも研鑽を積む。

近年、2度にわたりカーネギーホールでオーケストラと共演。ヴォーン・ウィリアムズのオラトリオと「カルミナ・ブラーナ」のバリトン・ソロを歌い、公演を成功に導いた。欧州ではドイツのニュルンベルク交響楽団、ミュンヘン放送交響楽団と共演。

2015年、全米でテレビ放送されたシカゴ・リリック・オペラの世界初演オペラ「Bel Canto」で神父アルゲダス役を演じ、アメリカ・プロ・デビューを飾り、海外新聞社・クラシック雑誌から称賛を得た。2018年まで同劇場の研修機関に所属し、「リゴレット」、「ロミオとジュリエット」、「エフゲニー・オネーギン」、「カルメン」、「真珠採り」、「清教徒」などに出演。日本では、近年各地でベートーヴェン第9番交響曲のソリストを務めているほか、飯森範親指揮「カルミナ・ブラーナ」や、広上淳一指揮ブラームス「ドイツ・レクイエム」、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団「イオランタ」(コンサート形式)、高関健指揮京都市交響楽団「戦争レクイエム」などに出演し、高評を博した。

2018年12月、Premiereオペラ財団国際声楽コンクールで優勝し、同時にホロストフスキー記念特別賞を受賞。同月末には高関健指揮東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の「第九」に出演。

2019年1月にはカロライナ歌劇場で「カルメン」に出演、2月にはニューヨーク・オラトリオ・ソサエティ主催のシベリウス「クレルヴォ」交響曲のソリストとしてカーネギーホールに登場する。今後国内外での活躍が期待される。公式ホームページ

<https://www.takaokionishi.com/>

## “食と温泉の国のオーケストラ” 山形交響楽団

Yamagata Symphony Orchestra



©Kazuhiro Suzuki

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。山形テルサ・酒田・鶴岡での定期演奏会、東京・大阪での「さくらんぼコンサート」、山形県下で毎年3万人以上の青少年に“感動”を届けるスクールコンサートなど、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。

2007年、飯森範親(2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立している。2006年、オーケストラの自主レーベルとしては日本初となるCDレーベル「YSO live」を立ち上げ、2007年から2015年まで8年半にわたる壮大なプロジェクト、「アマデウスへの旅」(モーツァルト交響曲全曲演奏会)を開催、2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。創立45周年を迎えた2017年4月には「モーツァルト交響曲全集」を発売、第55回レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。

2019年度より、芸術総監督 飯森範親、常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ラデク・パボラーク。創立名誉指揮者 村川千秋、名誉指揮者 黒岩英臣。

オフィシャル・ウェブサイト <http://www.yamakyoo.or.jp/>